

ぶどうの樹だより

vol.03
2019.4.1

NEWS LETTER

ぶどうの樹キリスト教会

「名前の由来」

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。」

新約聖書 ヨハネの福音書 15章5節

この聖書のことばが「ぶどうの樹キリスト教会」の名前の由来です。イエス・キリストが「ぶどうの木」で、私たちは「ぶどうの枝」。枝は木を離れては実を結ぶことはできないので、ぶどうの木(イエス・キリスト)に繋がっていることの大切さを覚えておくため、この名前にしました。



日本福音キリスト教会連合
宗教学法人 ぶどうの樹キリスト教会

〒160-0008

東京都新宿区四谷三栄町6-26



皆さんは、「教会」を訪ねたことがあるでしょうか？

私たちの教会はキリスト教会のプロテスタントに属しています。

「教会にはなかなか『敷居』が高くて、行ったことはない」という方も多いでしょう。また、宗教というものに疑いを抱き、「教会には行かない」という方もいます。そのような皆さんに、イエス・キリストがどういう方であるか、少しでも知って頂きたい、お便りを出しています。



ぶどうの樹キリスト教会
牧師 三木 新

「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人です。」

わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるために来たのです。」

新約聖書 ルカの福音書5章31, 32節

この社会において、必要な働きがたくさんあります。医者や弁護士、裁判官、検事、政治家、教師また畜産農業そればかりでなく、バス・タクシー・電車・新幹線・飛行機といった乗物の運転手や、その物を作る職人、建物を建設する大工、コンビニ店員、郵便局・銀行職員。その他にも様々な働きがあり、特に子どもにとっては「親」・「家族」、「保護者」、「友」がとても大切です。

「医者が必要とするのは、病人」

「弁護士が必要とするのは、困っている人や被告人」

「裁判官が必要とするのは、訴えを公平に聞いてもらいたい人」

「政治家が必要とするのは、すべての国民であり、とりわけ社会的弱者」

「教師が必要とするのは、幼い子どもたちや無学の人」

「農家を必要とするのは、すべての人」

「親・保護者が必要とするのは、小さな赤ちゃんから子ども」

これらと同じように、いやそれ以上に、イエス様は私たちにとっての真の医者であり、弁護士であり、裁判官であり、政治家であり、教師、農家、親・保護者...であると聖書は教えています。

現在、医者、弁護士、政治家、教師、親・保護者あるいは教会の働き人の中においてさえ、信じられない事件とスキャンダルを起こす人々がいます。それらは「その人の抱える『闇』が十分に解決されていないから」とも言えますが、決して他人事とは言えない心の問題を実は私たち一人一人も抱えています。そのため、誰を信用したら良いのか分からない社会にもなっています。私たちは、どこに信頼を向けば良いのでしょうか。聖書の他の箇所にもこのような言葉があります。

『「キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られた」ということばは真実であり、

そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。』

(新約聖書 テモテへの手紙第一1章15節)

2000年前の人がどうしてそんなふうと言われるのか？イエスとは誰なのか？本当にマルチな才能を持っているのか？

イエス様のことについてあまり聞いたことのない方からすると、疑問や疑いが生じて当然だと思います。最初はそれでも構いません。ですが、ぜひイエス様のことについて、少しでも興味・関心を持たれたら、ぜひ尋ねて(訪ねて)みて頂きたいのです。イエス様は言いました。「わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるために来たのです」と。